



▲「地域に誇りを持ち、まちを愛することが大切」と述べる野尻理事長

元 迫で元気なまちづくりプロジェクト発足式 元気な登米市を目指して

地域ブランドや新しい観光事業の開発などで地域の活性化を目指す、登米市元気なまちづくりプロジェクト（伊藤俊郎発起人代表）の発足式が4月10日、迫町の若寿司会館で開催されました。式には迫地区の発起人や関係者など約100人が参加。NPO法人全国元気なまちづくり機構の野尻博理事長を講師に招き、「元気でホットな登米市をめざして」と題した講演や事例発表などが行われました。プロジェクトでは毎月1回市民参加型の勉強会を開催し、地域の活性化を目指して活動を行うことにしています。

動 豊里で街頭指導「着ぐるみ作戦」 動物たちが交通安全をPR

春の交通安全運動初日の4月6日、JAみやぎ登米豊里支店前で交通安全運動出発式が行われ、登米地区交通安全協会豊里支部や交通安全母の会など関係者約80人が参加しました。出発式後に行われた街頭指導では、信号待ちのドライバーに「安全運転をお願いします」と、交通事故防止の啓発チラシを配布しました。また、交差点前では「サル」「トラ」「パンダ」の3匹がそれぞれ交通標語の横断幕を持って、県道を走行するドライバーに手を振り、交通安全を呼び掛けました。



▲サルの着ぐるみが交差点で交通事故防止を呼び掛けました

新 南方でボランティアサークル「天の川」研修会 新会員とともに活動を開始！

地域の子ども会活動や公民館行事などで、子どもたちの指導にあたるボランティアサークル「天の川」が4月6日、南方公民館で研修会を行いました。研修会では、最初に自己紹介が行われ、会員の個性あふれる紹介に、新しく仲間入りした新会員の緊張も一気にほぐれ、和やかな雰囲気の中で、研修が始まりました。会員たちはジュニア・リーダーとしての心構えなど説明を受けた後、子どもたちが名前を覚えやすいようなキャンプネームを考えたり、ゲームやダンスなどの練習を行ったりしました。



▲先輩とともに子どもたちに教えるゲームの練習をしました

目 石越で街頭キャンペーン「無事カエル」運動 指せ死亡事故ゼロ1000日！

春の交通安全運動期間中の4月7日、石越町の口梨地内と十八引地内で街頭キャンペーンが行われ、石越ライオンズクラブ、交通安全母の会、佐沼地区交通安全協会石越支部などの団体が主体となり、ドライバーの皆さんに交通事故防止を呼び掛けました。キャンペーンでは、「死亡事故ゼロ1000日達成」を目指し、無事故を願って作成したカエルのマスコットやチラシを配布しました。受け取ったドライバーの皆さんは「ありがとう」「気を付けます」などと笑顔で応えていました。



▲「気を付けて運転してください」とドライバーに呼び掛ける参加者

大 中田浅水地区でこいのぼりの掲揚 大小110匹が大空を泳ぐ

中田町浅水地区のサイクリングロードへのアクセス道路約200mに4月11日、浅水コミュニティ運営協議会が主体となって、今年も大小さまざまなこいのぼり約110匹が揚げられました。この事業は、子どもたちが元気にたくましく成長することを願い平成6年から毎年実施され、今年で16年目となっています。また、こいのぼりは、家庭で使われなくなったものを寄付していただき再利用して行われています。この事業は、5月9日まで行われていますので、ご家族そろってぜひ一度ご覧ください。



▲浅水コミュニティ運営協議会の皆さんによって大空に泳ぎだしました

自 登米で児童を対象に自転車安全講習会 転車の安全走行を学ぶ

児童の自転車交通事故を防ごうと登米地区小学生自転車安全講習会が4月11日、登米交通公園を主会場に開催されました。今年で6回目を数えるこの講習会には、登米警察署管内4地区（登米、豊里、東和、津山）の小学6年生41人が参加。安全協会の指導員から自転車の正しい乗り方などを学んだ後、8の字走行などの実技訓練も体験しました。この後、講習を受けた児童全員に「自転車運転免許証」が交付され、参加した児童は「学校に戻ったら、自転車リーダーとしてみんなに教えたい」と話していました。



▲講習会で指導員から正しい自転車の乗り方を学ぶ児童